

GAPの取組推進セミナー 開催要領

1 目的

農業生産工程管理（Good Agricultural Practices、以下、GAPとする）は農産物の安全性や農作業時の人々の安全を守るために、農産物を生産する各工程を自らが確認し、事故が起こらないよう未然に防ぐとともに、経営改善や効率化にもつなげるための取組です。GAPに取り組むことで得られる効果や先進事例、県内での取組に対する支援体制を紹介することで、農業者のGAPへの取組がさらに広がりを見せるよう、本セミナーを開催します。

2 主催

宮城県

3 後援

一般社団法人宮城県農業会議、宮城県農業法人協会

4 日時

令和8年1月29日（木）午後1時45分から午後3時45分まで

5 場所

宮城県古川農業試験場大会議室（宮城県大崎市古川大崎字富国88）

6 内容

（1）開会・主催者あいさつ（13:45～13:50）

（2）講演（13:50～15:00）

イ 「GAPの取組により経営改善効果が期待できます（仮）」

福島県農業総合センター企画経営部経営・農作業科

科長 武藤景子 氏

ロ 「南郷トマト生産組合の取組～産地まるごとGAP認証～（仮）」

J A会津よつば南郷営農経済センター営農課

課長 渡部裕紀 氏

～休憩（5分）～

（3）取組紹介（15:05～15:35）

イ J Aグループのよりよい営農活動について

J A宮城中央会営農農政部

ロ J A全農みやぎの取組

J A全農みやぎ園芸・生産振興部

ハ 県の支援制度の紹介

みやぎ米推進課環境対策保全班

（4）質疑応答（15:35～15:45）

7 参集範囲

農業者、市町村、宮城県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会宮城県本部、農業協同組合等